

平成22年度 全国女性委員会議報告

○期日 平成23年2月19日【土】

○場所 将棋会館（東京）

○出席者 池下真知子・尼崎恵美

○会議報告

- ・日本陸連より挨拶
- ・日本陸連女性委員理事紹介
- ・冊子をもとに日本陸連の説明及びトップアスリートの紹介など
- ・女性委員会の目的、これからの在り方についての説明
- ・全国的な女性の課題（選手の引退後や環境下などをもとに）
- ・女性アスリートのセカンドキャリアについて紹介
- ・女性部としての女子選手支援のありかた、引退後の支援などについて
- ・トップアスリートの今（引退後、現役）
有森裕子選手と早狩実紀選手の講演
- ・次年度国体開催県よりあいさつ（山口県）

有森裕子選手

・もともとバスケットをされていて、本格的に陸上をはじめたのは高校からだそうです。全くの無名の状態から、一生懸命練習を重ね、自分をアピールしながら苦勞してきた当時のことをはじめに話されていました。その後2大会連続メダルの栄光の背景にあった挫折感や不信感、悩みなどにふれ、どうして今のNPO法人の仕事をするようになったか熱く語られていました。選手の立場をしっかり守ろうとする有森さんの誠実さやたくましさが伝わり、すごく女性として格好いいと感じました。

早狩実紀選手

・中学時代から全国で活躍し、大きな挫折もなく、ずっと勝ち続けてきた話から、都道府県対抗女子駅伝の監督兼選手をした今年の思いや自分の今後のありかたなどを話されました。海外の合宿を終えてすぐに来て下さったようで、まだ現役で頑張っている姿もすてきでした。